平成２５年度　当初予算

新年度実施事業の概要

この資料は、一般会計予算において計上された事業を『今金町第５次総合計画』の政策区分に基づき、各部署において分野ごとに整理されたものを取りまとめたものです。

まちづくり推進課

～ 目　次 ～

第１節　あんしん・今金　～安全・安心な暮らし～

１行政経営・・Ｐ１
２消防・防災・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ３
３住生活・・Ｐ５
４環境保全・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ６
５健康・・・Ｐ６
６福祉・・・Ｐ８

第２節　いきいき・今金　～育ち、輝く地域人材～

７人の育成・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ１２
８子育て支援・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ１２
９学校教育・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ１４
１０社会教育・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ１７
１１スポーツ振興・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ１９
１２文化振興・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ１９

第３節　はつらつ・今金　～力強い地域産業～

１３農林業振興・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ２０
１４商工業振興・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ２４
１５観光・交流・定住・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ２７
１６情報通信・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ２９
１７交通・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ３０

●添付資料　政策事業調書（新規事業のみ）

①旧今金幼稚園跡地駐車場整備事業	Ｐ３３	⑥中央緑地改修事業	Ｐ３８	⑪教職員住宅建設事業	Ｐ４３
②総合体育館前倉庫周辺駐車場整備事業	Ｐ３４	⑦浄化槽設置整備調査事業	Ｐ３９	⑫総合体育館改修事業	Ｐ４４
③消火栓取替修理事業	Ｐ３５	⑧公共残土処分場造成事業	Ｐ４０	⑬クリーン農業推進事業	Ｐ４５
④北海道消防操法訓練大会出場派遣事業	Ｐ３６	⑨老人福祉センター改修事業	Ｐ４１	⑭旧今金保育所改修事業	Ｐ４６
⑤非常用発電機購入事業	Ｐ３７	⑩障がい者雇用促進補助金	Ｐ４２	⑮住宅リフォーム助成事業	Ｐ４７

第１節　　あんしん・今金　　～安全・安心な暮らし～

単位:千円

項　目	細項目	事　業　名	事業概要	H25年度予算額	前年度予算額	担当課	摘要
１　行政経営	１　地域づくり活動の推進	自治会町内会連合会活動補助事業	自治会町内会連合会の運営・活動費に対する助成。 ○各種部会活動 環境衛生部会、フラワー部会、生活安全部会 保健福祉部会、女性部会 ○自治会育成交付金、活動費など ○補助率　定額	5,932	5,932	まちづくり推進課	
		ふるさと創生支援事業	ふるさと創生基金を活用し、町民が主体となったまちづくりに寄与する取組を支援。 ○補助枠　３，０００千円 ○事務費　２８１千円 支援委員会の設置（10人） ○基金運用益の積立　１８０千円	3,461	3,462	まちづくり推進課	
	２　まちづくり情報の共有化	広報紙作成事業	町民に対し広報紙を通し様々な情報の周知を行う。 ○年１２回発行 ○月２，７００部作成	1,540	1,540	まちづくり推進課	
	４　組織基盤の強化	職員研修（派遣研修）	職員の資質向上のため、道・町村会等が主催する各種研修などへの参加派遣に要する経費。 ○管理・指導・政策能力研修 ○専門研修 ○初任者・初級・中級職員研修 ○視察研修	1,334	1,065	総務財政課	
		職員研修（集合研修）	職員の資質向上のため、行政課題に応じたテーマによる研修会を開催する。 ○評価制度 ○目標管理制度 ○職場のコミュニケーション　など	300	300	総務財政課	

項　目	細項目	事　業　名	事業概要	H25年度予算額	前年度予算額	担当課	摘要
1　行政経営	4　組織基盤の強化	旧今金幼稚園跡地駐車場整備事業	旧幼稚園庁舎跡地の有効利用のため、駐車場として全面舗装整備する。	19,425	0	総務財政課	新規①
		総合体育館前倉庫周辺駐車場整備事業	総合体育館前倉庫の周辺（旧農協ライスセンター跡地）を駐車場として全面舗装整備する。	20,475	0	総務財政課	新規②
		寒昇地区町有住宅改修事業	平成２４年度に道より買収した旧函館土木現業所今金出張所の職員宿舎を活用するため、一部（１棟２戸）を改修する。	7,500	0	総務財政課	
		町有施設解体事業	八束地区に現存する町有住宅（１棟２戸）と、種川地区に現存する町営住宅（種川宮前団地）の一部（１棟４戸）が老朽化し、入居者もいないことから周囲の安全確保や維持経費削減のため解体する。 第５次総合計画　登録事業　八束：2,113　　種川：3,314	5,427	7,240	総務財政課	

項　目	細項目	事　業　名	事業概要	H25年度予算額	前年度予算額	担当課	摘要
1　行政経営	5　財政の安定化	納税貯蓄組合奨励事業	町税の納期内完納などを啓蒙普及する、納税貯蓄組合に対する奨励金等の交付。 〇納入奨励　　８８６千円 納期内納付率90%以上の場合 納付額の０．５～１．０%を交付 〇事務費補助（@１３０円/人）２０１千円	1,087	1,087	税務住民課	
		納税貯蓄組合連合会補助金	納税貯蓄組合連合会の運営に要する経費に対する一部助成。 〇補助率　定額 ・納税広報、視察研修　など	90	90	税務住民課	
		渡島・檜山地方税滞納整理機構負担金	滞納額の縮減を図るため町単独では処理困難な事案（大口滞納者や悪質滞納者）の整理を行う、機構の運営経費を負担。 〇構成町 北斗市・福島町・知内町・木古内町 七飯町・鹿部町・森町・八雲町・松前町 長万部町・江差町・上ノ国町・乙部町 厚沢部町・奥尻町・せたな町・今金町	1,158	1,042	税務住民課 保健福祉課	負担割合 国保会計 ５割 一般会計 ５割
2　消防・防災	6　防火意識の啓発と防火指導の徹底	今金婦人防火クラブ助成事業	火災予防教育や、活動を行う組織に対する助成。 活動内容 〇消火器による消火訓練の実施 〇火災予防週間においてＰＲ活動の実施	120	120	今金消防署	

項　目	細項目	事　業　名	事業概要	H25年度予算額	前年度予算額	担当課	摘要
２　消防・防災	７　消防力の強化	消防無線保守点検委託事業	災害時の消防団員の招集、活動中の無線通信及び住民への災害周知等、消防活動の最重要設備。 檜山広域行政組合本部で委託契約をし、保守・点検を実施している。	319	319	今金消防署	
		消防施設除雪委託事業	火災等が発生した場合に速やかに出動し、消防活動を円滑に行うため、除雪作業を委託。	455	455	今金消防署	
		花石分遣所勤務委託事業	当初（平成８年度～）は、消防職員で対応していたが、人員不足により平成13年度より委託にて実施	1,800	1,800	今金消防署	
		消防用設備保守点検委託事業	消防法第１７条第３項第３号 消防法施行規則第３１条第６項に基づき実施。	45	46	今金消防署	
		今金町消防団運営事業	消防団任務遂行の経費。	72	72	今金消防署	
		消火栓取替修理事業	設置後４０年以上経過し、老朽化した消火栓を順次取替修理する事業 〇平成２５年度　５箇所　　２，２２３千円	2,223	0	今金消防署	新規③
		北海道消防操法訓練大会出場派遣事業	檜山管内各消防団が持ち回りで出場し、平成２５年度が今金町消防団が該当年となっている事業	2,394	0	今金消防署	新規④

項　目	細項目	事　業　名	事業概要	H25年度予算額	前年度予算額	担当課	摘要
２　消防・防災	８ 災害予防対策・危機管理対策の強化	災害予防・危機管理対策事業	関係機関・団体等の連携・協力による災害予防及び危機管理体制の確立。 ○防災会議運営　８４千円 ○国民保護協議会運営　８５千円 ○山岳遭難救助対策事業補助金　４０千円 ○防災を考えるつどい　９４千円	303	282	まちづくり推進課	
		非常用発電機購入事業	非常時等に発生が予測される停電に備え、役場機能の維持を目的として、非常用発電機を整備する。	7,875	0	総務財政課	新規⑤
	９応急体制の強化	災害扶助事業	災害見舞金 ○全焼・全壊・流出　２００千円 ○半焼・半壊　１００千円 ○弔慰金　２００千円	500	500	まちづくり推進課	
３　住生活	１１　良好な住生活の確保	街路灯維持費助成事業	防犯と生活環境の向上を図るため、道路・商店街に設置される、街路灯の維持管理費に対する助成。 ○事業主体　自治会・町内会 ○補助率　・電 気 料　２／３ ・電球破損　１／２ ○街路灯設置数　８８基	1,200	1,200	まちづくり推進課	
		町営住宅屋根塗装事業	町営住宅を良好に維持していくための屋根塗装に要する経費。 ○対象施設 ・南団地（Ｈ３築）　１棟１２戸	8,200	5,460	総務財政課	
	１２ 公園・緑地の維持管理	中央緑地改修事業	中央緑地を改修し、緑地の排水機能向上や地盤沈下などを防ぐ効果が期待され、雨天時のイベント開催にも対応できるよう整備する事業。 ○事業内容 ・全体事業費　Ｃ＝22,000千円 測量設計委託Ｃ＝2,000千円　本工事費Ｃ＝20,000千円	22,000	0	公営施設課	新規⑥
	１３　防犯体制の強化	安全で住みよい町づくり推進協議会運営事業	町民の安全意識の高揚と自主的な安全活動の推進を行い、安全で住みよいまちづくりの実現を図るために要する経費。	195	195	まちづくり推進課	
		防犯灯設置管理事業	防犯灯の設置及び維持管理事業 ○設置数４１９灯	2,073	2,073	まちづくり推進課	

項　目	細項目	事　業　名	事業概要	H25年度予算額	前年度予算額	担当課	摘要
４　環境保全	１４　自然環境の保護・再生	後志利別川清流保護の会活動事業	ＮＰＯ法人後志利別川清流保護の会が行う、清流維持活動に対する経費を負担。 〇負担金　　定額 〇事業内容 河川清掃、植栽・植林、ｲﾍﾞﾝﾄ参加	108	108	産業振興課	
	１５　汚水処理の普及促進	浄化槽設置整備事業	公共下水道整備計画区域外での合併処理浄化槽設置経費に対する助成。 〇事業主体　　浄化槽設置者 〇補助額・５人槽　　８０万円/基 ・７人槽以上　１００万円/基 〇一部国補助	14,000	14,000	公営施設課	
		浄化槽設置整備調査事業	公共下水道整備計画区域外での合併処理浄化槽設置調査事業 〇調査費７００千円（Ｈ２６以降の事業実施のための調査）	700	0	公営施設課	新規⑦
	１７　公害防止・環境美化・景観形成の推進	ゴミ箱作成、修理補助金	自治会・町内会が主体となって設置するゴミ箱の制作・修繕に要する経費に対する助成。 〇補助率　２／３ 〈上限額〉新規　６６千円 修繕　１５千円	360	360	まちづくり推進課	
		花いっぱい運動推進事業	自治会・町内会が主体となった公園や歩道に設置の花壇等への花苗定植による環境美化運動。	798	818	まちづくり推進課 公営施設課	
		公共残土処分場造成事業	公共工事発生土を長期的かつ安定的に処分することを目的とし、町有地を処分場として整備する事業。 〇事業内容 ・計画面積　Ａ＝7,820㎡　　・全体事業費　Ｃ＝21,700千円 ・H25年度　調査設計委託　Ｃ＝1,700千円	1,700	0	公営施設課	新規⑧
５　健　康	１９　主体的な健康づくりの促進	食生活改善事業（食育事業）	豊かで健全な食生活を実践することができる人間を育成するとともに、地域全体が食育の重要性を認識し、かつ適切な食生活を送ることで住民の心身の健康保持、増進を図る。 〇事業内容 栄養教室・親子料理教室等・個別相談	77	77	保健福祉課	

項　目	細項目	事　業　名	事業概要	H25年度予算額	前年度予算額	担当課	摘要
５　健　康	２０　成人保健の充実	基本健康診査事業	心臓病・脳卒中等の要因となる生活習慣病予防の一環として、住民検診の実施に要する経費。 〇検診日数　１１日間 〇検査項目 問診、身体計測、血圧測定 血液検査、眼底、心電図 〇結果報告及び保健指導など実施	3,900	3,240	保健福祉課	
		がん検診事業	がんの早期発見・予防を図るため、検診の実施に要する経費。 〇胃、大腸、肺、乳、子宮、前立腺がんの検診	6,500	6,693	保健福祉課	
		健康相談事業	定期又は自治会・団体の要請に応じ健康相談等を実施。 〇健康相談に併せて、生活習慣病や介護予防などの教室を実施 〇一部国・道費補助	84	84	保健福祉課	
		健康手帳交付事業	健康相談や検診などの保健サービス利用時の記録や健康状態などを記入し、自らの健康管理と適切な医療の確保に資する。	32	32	保健福祉課	
		集団健康教育事業	各種健康教室・講演会等を通し、住民の主体的な健康増進の取り組みを支援する。 運動教室・うつ自殺対策講演会及び研修会・ノルディックウォーキング等の推進、その他生活習慣病予防の啓発。	377	405	保健福祉課	
		訪問指導事業	家庭における療養方法等に関する指導や生活習慣病予防に関する指導。	65	55	保健福祉課	

項　目	細項目	事　業　名	事業概要	H25年度予算額	前年度予算額	担当課	摘要
５　健　康	２３　地域医療体制の維持確立	救急医療啓発普及事業	休日・夜間における第１次救急医療体制の確保と住民に対する普及啓発に要する経費。 ○委託先　　北部檜山医師会 ○事業内容　休日当番医謝金、普及啓発事費	4,450	4,450	保健福祉課	
６　福　祉	２６　高齢者介護・福祉の充実	高齢者温泉パスポート事業	65歳以上の高齢者を対象に、温泉施設利用料の軽減に要する経費。 ○クアプラザピリカ、奥美利河温泉の入浴料と公共温泉施設入浴料の差額分を扶助	362	362	保健福祉課	
		重度障がい者タクシー料金助成事業	重度障がい者の社会参加を促進するため、外出する際利用するタクシー料金の助成に要する経費。 （助成券　１人につき１２，０００円　）	672	720	保健福祉課	
		長寿健康祝金支給事業	高齢者を敬愛し、長寿を祝福するため祝い金を商品券で贈呈。。 満100歳到達者　３０万円相当 満 88歳到達者　５万円相当 満 80歳到達者　３万円相当	6,050	5,990	保健福祉課	
		敬老会運営事業	満７５歳以上の高齢者を対象に、長寿を祝して行う敬老会経費の助成。 ○事業主体　町内会、婦人会 ○補助率　定額（@２，０００円/人）	1,600	1,600	保健福祉課	
		老人クラブ運営事業	各地区老人クラブ、連合会の活動等に要する経費。 ○各種事業、研修会、会報誌など ○補助率 ・単位クラブ　定額 均等割　@４６，５６０円/ｸﾗﾌﾞ 人数割　@　１，５００円/人 ・連合会分　定額 ・健康づくり運動会　定額	1,905	1,905	保健福祉課	

項　目	細項目	事　業　名	事業概要	H25年度予算額	前年度予算額	担当課	摘要
６　福　祉	２６　高齢者介護・福祉の充実	高齢者事業団訪問開拓員設置事業	高齢者に適した仕事の訪問開拓事業に対する助成。 〇事業主体　高齢者事業団 〇補助率 ・人件費 １０/１０　　・事務費 ２/３ 〇一部道費補助	1,986	1,986	保健福祉課	
		高齢者共同生活施設せせらぎ運営事業	概ね65歳以上で、居宅生活が困難な者に対する共同生活施設の運営に要する経費。 〇指定管理者　　㈲ササキ総合管理サービス 〇事業内容 介助及び身体機能回復指導や趣味活動などの支援	28,579	28,384	保健福祉課	
		給食サービス事業	自ら調理が困難な在宅高齢者に対する食事の提供に要する経費。 〇対象者 高齢者の単身世帯又は世帯の構成員が全て高齢者である世帯等で、老衰・障害等により調理が困難なもの。 〇提供内容 ・毎日、昼・夕配食　　・利用料 @520円/食	21,109	21,276	保健福祉課	
		老人福祉センター改修事業	老人福祉センターの老朽化や各室等の安心・安全で利用しやすい施設となるよう一部改修を行う。	30,000	0	保健福祉課	新規⑨
	２７　障がいのある人への福祉の推進	障がい者雇用促進補助金	今金町における障がい者（児）雇用の関心と理解を深め、障がい福祉の向上のために、新たに障がい者（児）を雇用する事業者に対し支援を行う。 〇補助対象者　　新規に障がい者（児）を通年雇用する町内事業者 〇補助金　　１雇用に対し月額30，000円	1,080	0	保健福祉課	新規⑩
		社会福祉法人光の里補助金	光の里学園施設整備のための借入金償還額に対する助成。 〇償還額に対する道の利子補給費 補助残分を助成	15,445	1,558	保健福祉課	

項　目	細項目	事　業　名	事業概要	H25年度予算額	前年度予算額	担当課	摘要
６　福　祉	２７　障がいのある人への福祉の推進	身体障害者福祉協会補助金	今金町身体障害者福祉協会の活動経費に対する助成。 〇研修会、スポーツ大会への参加 〇補助率　定額	90	90	保健福祉課	
		じん臓機能障害者通院交通費助成事業	人工透析療法による医療給付を受けるため、医療機関への通院に要した経費の道費補助残額を助成。	101	101	保健福祉課	
		障がい者地域生活支援事業	障がい者がその有する能力及び適正に応じ自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう福祉の増進を図る。 〇事業内容 ・コミュニケーション支援事業(聴力障がい者への手話通訳者派遣) ・日中一時支援事業(機能訓練等の日中活動支援)	9,825	4,620	保健福祉課	
		ボランティア活動支援事業（旧精神障がい者社会復帰支援事業）	精神障がい者の社会復帰活動に対し支援を行うための経費。 〇事業主体 精神障がい者回復者クラブ 「ピュアサークル」	200	200	保健福祉課	
	２９　地域福祉の推進	患者バス運営事業	無医地区等の医療機関への交通確保などを図るため、バスの定期運行に要する経費。 〇月～土曜日(祝祭日除く)　　７系統運行	5,211	5,091	保健福祉課	
		福祉灯油扶助事業	高齢者等に対する冬期増嵩経費の援助として、灯油２００ﾘｯﾄﾙを扶助。 〇７０歳以上(単身・夫婦)、母子又は寡婦、心身障がい者等で、所得税及び町民税の非課税世帯であり、かつ、年収１５０万円未満の世帯を対象。	3,749	3,793	保健福祉課	

項　目	細項目	事　業　名	事業概要	H25年度予算額	前年度予算額	担当課	摘要
６　福　祉	２９　地域福祉の推進	緊急通報電話設置事業	身体機能に障がいのある高齢者に対し、緊急ボタンにより消防署へ通報される「あんしん電話」の貸与。 （緊急通報電話購入費、取付料）	1,351	639	保健福祉課	
		地域包括支援センター運営事業	高齢者が住み慣れた地域で尊厳のある素晴らしい生活を継続できるように、心身の健康維持・保健・福祉・医療の向上、生活の安定のための必要な援助・支援を包括的に行うセンターの運営に要する経費。 〇事業内容 ・権利擁護事業 ・総合相談事業 ・介護予防ケアマネジメント事業 ・任意事業　他	28,506	28,273	保健福祉課	
		社会福祉協議会補助事業	社会福祉協議会の運営に要する経費に対する助成。 〇活動費、人件費・事務費 〇補助率　定額 ※H18ボランティアセンター創設	15,445	14,775	保健福祉課	
		在宅福祉サービス事業	高齢者の施設入所抑制を図るため、在宅福祉サービスの普及などに要する経費。 〇委託先　　社会福祉協議会 （人件費１名、事務費）	5,421	5,321	保健福祉課	
		発達支援センター事業	今金町とせたな町から子ども発達支援センター~~（旧母子通園センター）~~に通う子どもの療育支援(専門支援機関による検査等）、家族支援（相談・情報提供・研修・家族交流等）、地域の体制づくり（関係機関訪問・巡回相談・発達支援教室の開催・地域療育ネットワーク等）に要する経費	4,324	4,759	教育委員会	
		児童発達支援事業・放課後等デイサービス事業	心身の障がいや発達に不安等がある乳幼児、児童生徒などに対し、個々の状況に応じた適切な療育支援を講じるための事業経費。 〇常勤職員　３名 〇事業内容 個別療育・グループ療育・集団療育 （・療育時間は月～金曜日・１家族1時間半）	14,832	15,148	教育委員会	

第２節　　いきいき・今金　　～育ち、輝く地域人材～

項　目	細項目	事　業　名	事業概要	H25年度予算額	前年度予算額	担当課	摘要
７　人の育成	３１　子どもたちへの地域人教育の推進	今金っ子育成プロジェクトチーム補助金	児童生徒の学力向上や望ましい学習・生活習慣の定着に取り組んできたが、さらに創造力や表現力を養うことや集中して課題に取り組む力を身に付けるため、「読書と作文のまち」を共通のテーマとして、学校・家庭・地域・行政の役割を明確にするための研究をはじめ、様々な実践活動を展開する。	900	900	教育委員会	
	３２　産業人の育成	産業後継者育成就業奨励金事業	町内農林商工業者の子弟が、新たに町内で後継者として従事した場合に奨励金を交付。 〇奨励金 ・独身者　７０万円 ・配偶者を有する者　１００万円 〇交付時期 従事することになった日から、３年経過後。(6ヶ月経過時要届出) 〇交付予定者(既届出者) 商工業　Ｈ２５：２名　１４０万円 農　業　Ｈ２５：４名　３４０万円	4,800	4,500	産業振興課	
	３３　福祉分野におけるマンパワーの充実	今金町赤十字奉仕団運営事業	赤十字奉仕団のボランティア活動に対する助成。 〇施設訪問、花壇造成、研修など 〇補助率　定額	42	42	保健福祉課	
	３４　まちづくり人材の育成	地域再生加速推進事業補助金	本事業は「人材育成」「農・食」をテーマに各プロジェクトを通して交流人口増や地域活性化を図り、まちづくりを持続・継続するため、札幌国際大学・民間や新しい公共を担う地域住民団体と行政が一体となって「協働のまちづくり」を築く基盤整備を図る。 ◆新ご当地グルメＰＲ事業　◆イメージキャラクターＰＲ事業 ◆地域資源発掘再発見事業　◆田舎暮らし体験事業　他	7,400	7,700	まちづくり推進課	
８　子育て支援	３５　幼児教育・保育の充実	ブックスタート事業	地域に生まれた全ての子どもと保護者に、子育て応援のメッセージをそえて絵本を手渡す運動。近年全国で取り組まれるようになり、今金町でも6ヶ月乳幼児健診において実施。	32	32	教育委員会	

項　目	細項目	事　業　名	事業概要	H25年度予算額	前年度予算額	担当課	摘要
８　子育て支援	３５　幼児教育・保育の充実	育ちの支援事業	今金町の責務として、心身発達の心配や遅れのある乳幼児に対して、保育所等において、集団保育、必要に応じて個別保育等を実施することにより、育ちの支援を要する乳幼児等の心身の機能の伸長と健全な社会性の成長発達を促進することを目的とする。 必要に応じ、特別支援推進チームや子ども発達支援センターと連携する。	1,822	4,306	教育委員会	
	３６　親と子の健やかな成長の支援	母子保健事業	妊娠・出産・育児に係る一貫した検診体制や乳幼児の疾病・障害の早期発見や適切な相談・助言等に要する経費。 〇妊婦健康診査券の発行 〇乳幼児健診（3ヵ月・1歳6か月・3歳・5歳） 〇股関節脱臼検査　３ヶ月児 〇虐待予防ケアマネジメント事業	5,303	5,246	保健福祉課	
		幼児歯科検診事業	乳幼児を対象とした、歯科検診・フッ素塗布等に要する経費。 〇年３回（６日間）実施	1,501	1,501	保健福祉課	
		予防接種事業	感染症の罹患を防ぐため、各種予防接種の実施に要する経費。 〇BCG,３種混合、２種混合、インフルエンザ、ポリオ、麻疹・風疹	6,367	4,865	保健福祉課	
		子宮頸がん等ワクチン予防接種事業	子宮頸がん及びヒブ・小児肺炎球菌による重症感染症の予防を図るため、予防接種による対策を講じる。 （対象者） 〇子宮頸がん：中１～高１ 〇ヒブ、小児肺炎球菌：生後２ヶ月～５歳未満	5,059	4,625	保健福祉課	
		民生委員児童委員協議会運営事業	住民の相談・支援を行う今金町民生委員児童委員協議会の運営経費に対する助成。 〇定例会、調査研究、研修など 〇補助率　定額	3,614	3,614	保健福祉課	

項　目	細項目	事　業　名	事業概要	H25年度予算額	前年度予算額	担当課	摘要
８　子育て支援	３７　子育て支援の強化	出生児記念品贈呈事業	出産を奨励し、児童の健全育成を図るため、保護者に対し記念品を贈呈。 〇商品券の贈呈　第１子　　５０千円相当 第２子　１００千円相当 第３子　２００千円相当	3,200	3,200	税務住民課	
９　学校教育	４０　小中学校の教育内容の充実	小中学校絵画書道展事業	児童生徒の文化芸術に親しむ機会の確保と学習活動の発表の場として、総合文化祭に書道絵画の作品展示を行う。 〇記念品の贈呈 町長賞、議長賞、教育委員長賞、 教育長賞及び佳作	80	69	教育委員会	
		学校体育芸術文化連盟事業	今金中学校生徒の体育・文化活動の普及向上を図るため、中体連などの各種大会参加経費に対する助成。	700	700	教育委員会	
		今金町教育委員会指導主事設置事業	幼稚園、各小中学校における教育課程、学習指導、その他学校教育に関する専門的事項の計画的な推進と重点的な指導を行う。	1,361	1,361	教育委員会	
	４１　学校給食による食育推進	学校給食食育推進事業	「食を大切にできる子」を育むことを目標に学校給食食育推進委員会において学校・家庭・地域・行政が連携した食育の推進を図る。	211	229	教育委員会（給食センター）	
		今金町学校給食センター給食配給事業	児童・生徒の望ましい食習慣の形成（基本的な栄養基準量の摂取）を行うことにより、子供達の成長及び健康の増進を図る。	40,770	42,948	教育委員会（給食センター）	

項　目	細項目	事　業　名	事業概要	H25年度予算額	前年度予算額	担当課	摘要
９　学校教育	４２　特別支援教育環境の充実	今金高等養護学校後援会運営事業	高等養護学校の教育活動を援護し、生徒の社会自立に寄与する、後援会の運営に要する経費を助成。 〇事業内容　学校教育活動支援、啓発、研修 〇補助率　　定　額	170	170	教育委員会	
		特別支援教育支援員配置事業	障がいのある児童生徒に対し、将来の社会参画と自立支援を目指し、個々に応じたきめ細かな対応を図るため、特別支援教育支援員を配置する。 〇小中学校担当支援員５名（各小中学校配置） 〇就学前担当支援員１名(子ども発達支援センター配置)	12,630	12,642	教育委員会	
		高等養護学校卒業生就労支援事業	高等養護学校生徒について学校教育から就業支援までの一貫体制を築き、卒業後の社会参画及び自立支援を図る。 〇卒業生１名任用（２年次目）	1,631	3,262	教育委員会	
	４４　教育環境の充実	教職員研修等事業	教員の資質向上や指導方法の先進視察などに要する経費。 〇道内大規模校・先進校の視察 〇研修及び家庭訪問等に要する旅費	236	185	教育委員会	
		教育研究会運営事業	総合的な学校教育のあり方やへき地複式教育に係る研究・協議を行う今金町教育研究会の運営に要する経費を負担。	1,220	1,400	教育委員会	
		学校運営協議会運営事業	円滑な学校運営を図るため、今金町学校運営協議会の運営に要する経費を負担。 〇全道・管内組織との研究交流 〇校長会・教頭会の開催	537	562	教育委員会	

項　目	細項目	事　業　名	事業概要	H25年度予算額	前年度予算額	担当課	摘要
９　学校教育	４４　教育環境の充実	地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業（スクールガードリーダー）	子どもが登下校時などに事件や事故に巻き込まれる事案が社会現象となっていることを踏まえ、子どもたちが安全で安心して教育を受けられるよう、学校、家庭、地域社会が一体となって、学校や通学路における子どもの安全・安心の確保に取り組む体制を整備する。	36	36	教育委員会	
		スクールバス運行事業	児童生徒の登下校などや町民各層の研修・学習機会確保のため、スクールバスの運行に要する経費。 〇委託先　民間 〇臨時運転者経費、維持費	25,030	24,321	教育委員会	
		奨学基金貸付事業	成績が優秀で、経済的理由により就学が困難な者に対し、基金より奨学資金を貸し付ける。 〇貸付額（月額） 国立、公立と私立で区分あり 高等学校等　２０千円以内 専修専門課程等　２５千円以内 短期大学　２８千円以内 大　学　３０千円以内 大学院　３５千円以内	3,576	3,900	教育委員会	
		教職員住宅建設事業	現在使用している教職員住宅（昭和４６年～昭和６０年建築）については老朽化が進んでいることから計画的な建替えを行う。平成２５年度においては種川地区の教員住宅（校長・教頭）の地質調査・設計および建設を行う。	59,600	0	教育委員会	新規⑪
	４６　高等教育との連携の推進	高等学校振興会運営事業	教育環境整備や学校活動・地域社会活動の支援を行う振興会の運営に要する経費を負担。	1,140	1,140	教育委員会	

項　目	細項目	事　業　名	事業概要	H25年度予算額	前年度予算額	担当課	摘要
１０　社会教育	４９　青少年教育の推進	こども会連合会運営事業	こども会の親睦・交流を促進し、児童福祉の向上を図るため、連合会の運営に要する経費を助成。 〇事業内容 ドリームバスツアー、 レクリェーション大会、 かるた・百人一首教室等 〇補助率　定　額	122	122	教育委員会	
	５０　成人教育の推進	成人祭運営事業	町内成人者の社会人としての意識向上を図るため、成人祭式典・交流会の開催に要する経費。 〇開催日　８月１３日	327	277	教育委員会	
	５１　読書活動の推進	学校図書購入事業	児童生徒の学力向上をはじめ、自立性や創造性の向上を図るため、小中学校の図書整備に要する経費。	550	600	教育委員会	
		町民センター図書室運営事業	日常的な読書活動の普及啓発を図るため、図書室の運営に要する経費。 〇図書室司書　１名 〇図書購入費	3,019	2,987	教育委員会	
		本のふれあい便事業	「いつでもどこでもだれでもが」本にふれられる機会づくりを目指して、八雲町立図書館と今金町民センター図書室が連携し、町民の読書環境の充実を図る。	59	59	教育委員会	
	５２　国際交流活動の推進	国際交流推進アドバイザー招聘事業	学校教育及び町民における国際理解の充実を図るため、アドバイザーの招聘に要する経費。 〇推進員報酬、活動費など	4,637	4,637	教育委員会	

項　目	細項目	事　業　名	事業概要	H25年度予算額	前年度予算額	担当課	摘要
１０　社会教育	５２　国際交流活動の推進	国際国内交流事業	異なる文化圏での体験による国際理解・地域理解を深めるため、今金町国際国内交流事業実行委員会が行う各種交流事業に対する助成。 〇ＮＺ中学生派遣事業 〇国際交流夏のつどい留学生受け入れ事業	5,170	720	教育委員会	
	５３　社会教育団体の育成支援	人づくり推進会議運営事業	「まちづくり」は「人づくり」の観点から、社会教育、文化・芸術、スポーツ、地域の教育研究の充実・振興を目的とする事業に対し、その事業費の一部を助成。 〇対象者 社会教育・文化芸術・スポーツ関係及び教職員 で構成する団体 〇補助率　定額（１団体１事業１０万円以内）	900	900	教育委員会	
		女性団体連絡協議会運営事業	町内女性団体の相互理解・交流を促進するため、協議会の運営に要する経費を助成。 〇事業内容　研修活動、女性団体育成 〇補助率　定額	188	188	教育委員会	
		ＰＴＡ連合会運営事業	学校教育の振興と管内・町内ＰＴＡの相互理解・交流を促進するため、連合会の運営に要する経費を助成。 〇事業内容　研修活動、研究大会など 〇補助率　定額	225	225	教育委員会	
		青年会議運営事業	町内青年団体の相互理解・交流を促進するため、青年会議の運営に要する経費を助成。 〇事業内容　研修活動、青年団体育成 〇補助率　定額	665	665	教育委員会	

項　目	細項目	事　業　名	事業概要	H25年度予算額	前年度予算額	担当課	摘要
１１スポーツ振興	５４　スポーツ活動の促進	スポーツ少年団運営事業	青少年のスポーツ振興と町内スポーツ少年団の育成強化を図るため、今金町スポーツ少年団本部の運営に要する経費を助成。 〇事業内容　ドリームバス研修、各種大会参加、指導員講習会・活動費、研修事業等 〇補助率　　定額	750	750	教育委員会	
		体育協会運営事業	町民がスポーツに対する関心と理解を深め、自ら実践する体育の振興・発展を図るため、今金町体育協会の運営に要する経費を助成。 〇事業内容 町民体育祭運営、講習会・研修会、各種スポーツ大会・事業 〇補助率　定額	2,250	2,250	教育委員会	
		ふれあいスポーツ交流会運営事業	スポーツを通じた町内外の交流を推進するため、今金町ふれあいスポーツ交流事業実行委員会が行う冬季スポーツ競技の開催経費を助成。	500	500	教育委員会	
		総合型地域スポーツクラブいまかね運営事業	町民が日常的にスポーツに親しむ環境をつくり、スポーツに対する意識の向上と健康の維持増進を狙いとして活動する「総合型地域スポーツクラブいまかね」への運営補助金。	682	682	教育委員会	
		総合体育館改修事業	総合体育館は築37年を経ており、建物全般について経年劣化が随所にみられる。利用者の安全性確保と施設の延命を図るため、改修を行う。平成２５年度においては改修のための調査設計を委託する。	6,800	0	教育委員会	新規⑫
	５６　活動の場の提供	今金高等養護学校プール一般開放事業	町の財政状況を考えたとき、小中学校プールの新設・大規模改修は難しい状態にあるため、今金高等養護学校プールを一般開放を行うための経費の一部を負担する。	474	454	教育委員会	
１２　文化振興	５７　文化・芸術活動の促進	文化協会運営事業	文化・芸術の振興と広く町民に鑑賞や発表の機会を与える協会の運営に要する経費を助成。 〇事業内容　総合文化祭、文化団体育成、研修事業 〇補助率　　定額	700	700	教育委員会	
		幼少年芸術劇場運営事業	日頃接する機会の少ない芸術鑑賞機会を提供し、豊かな心を育む。 〇幼児、小学生、中学生を対象に開催	900	900	教育委員会	
	５８　文化財の保存と継承・活用	ピリカ旧石器文化館体験学習事業	文化財への理解を深め、また施設の魅力を高めることを目的に様々な体験学習事業を実施する。 体験学習用材料の購入経費。(体験学習利用者は材料費実費負担)	108	92	教育委員会	

第３節　　はつらつ・今金　　～力強い地域産業～

項　目	細項目	事　業　名	事業概要	H25年度予算額	前年度予算額	担当課	摘要
１３　農林業振興	６０　農業経営体質強化の促進	今金町農業振興計画作成事業	平成２０年度から２５年度における第６次今金町農業振興計画の見直しを行い、改めて平成２６年度から３１年度までの第７次今金町農業振興計画を作成する。 〇事業費　印刷製本費　　３８７，０００円	387	0	産業振興課	
		担い手対策事業	農業経営を新たに営む者に対して支援を行い農業経営の安定と定着を図り、農業振興を推進する。 〇農業後継者に対する支援 〇新規就農者に対する支援	3,000	3,000	産業振興課	
		農業経営基盤強化資金利子補給事業	農業経営基盤強化資金に伴う利子補給事業	2,286	2,640	産業振興課	
		「今金男しゃく」ブランド向上対策事業	「今金男しやく」の銘柄（ブランド）維持を目的に、高規格（L玉）の出荷数量に対して奨励金を交付する。 〇 １俵当たり５０円	2,400	2,400	産業振興課	

項　目	細項目	事　業　名	事業概要	H25年度予算額	前年度予算額	担当課	摘要
１３　農林業振興	６０　農業経営体質強化の促進	新酪農ヘルパー事業	酪農家の定期的な休日確保や傷病時などの代行による経営の安定を図るため、酪農ヘルパー組合の運営経費を助成。 ○事業内容 ヘルパー人件費等を農協、町、生産者で負担 ○補助率　定額	1,500	1,500	産業振興課	
		中山間地域等直接支払交付金事業	地理的条件などが不利となる中山間地域に対して、国・道・町が応分の負担による地域に応じた農業振興施策に要する経費を負担。 ○負担割合 国５０％・道２５％・町２５％ ○事業主体　今金町集落協定 ○事業内容 各種担い手対策、機械整備、環境整備、管理経費など	47,434	47,434	産業振興課	
		農民連盟活動促進事業	農業者の青色申告の推進を図るため、今金町農民連盟の活動経費に対する助成。 ○活動内容　所得申告指導など ○補助率　定額	720	720	産業振興課	
		農業後継者奨学資金貸付事業	農業後継者育成のため、卒業後の農業従事が確実である者に対し、奨学資金を貸付。 ○高等学校　年額１００千円 ○専門学校･大学等　年額１４０千円 ※卒業後５年以上従事した者は償還免除	560	560	産業振興課	
		農業後継者対策事業	農業後継者の花嫁不足解消等を図るため、交流事業の取組に対する助成などに要する経費。 ○事業主体 町及び産業後継者対策協議会 ○事業内容等 今金町：結婚相談員等報酬、各種負担金、事務費 協議会：後継者交流事業	1,236	1,248	産業振興課（結婚相談所）	
１３　農林業振興	６０　農業経営体質強化の促進	畜産環境保全施設整備事業	家畜の排せつ物処理施設の整備に係る国のリース事業償還額に対する助成。 ○事業主体　今金町農業協同組合 ○補助率 地元負担２５％（受益者6.25%、農協6.25%町12.5%）	3,412	3,215	産業振興課	

項　目	細項目	事　業　名	事業概要	H25年度予算額	前年度予算額	担当課	摘要
１３　農林業振興	６１　高品質で環境にやさしい農畜産物の安定生産の促進	牛群繁殖管理推進事業（早期受胎促進）	乳用牛と肉用牛の雌牛を対象に、要件を満たして早期受胎した牛に対し、助成を行うことで、牛群の繁殖管理の向上を促し、生産者の意識改革及び生産性の向上を図る。 〇事業内容　１，１４０頭×７，０００円	7,980	770	産業振興課	
		クリーン農業推進事業	Yes！Clean対応施肥体系と慣行施肥体系の１０a当たりの施肥費の差額を助成。 〇事業主体　今金町農業協同組合　　〇補助率　　１／２	2,200	0	産業振興課	新規⑬
	６２　販売強化の促進	野菜集出荷施設維持管理費補助金	野菜集出荷施設の運営につき、広域連から一定の負担をいただくとともに、今金町民分を支援することにより将来の大規模修繕に備える。	1,120	1,120	産業振興課	
	６３　基盤整備による効率的な農地利用の推進	旧今金保育所改修事業	旧今金保育所の庁舎を国営緊急農地再編整備の道開発局事務所として利用するため、機能に必要な改修を施す。　庁舎改修、駐車場、車庫	46,300	0	総務財政課	新規⑭
		土地改良施設維持管理適正化事業	農業水利施設の機能低下による、転作田への漏水解消を図るため、施設の整備補修に要する経費。 〇事業主体　狩場利別土地改良区 〇事業内容　用水路改修、頭首工ゲート塗装、揚水機ポンプオーバーホール等 〇補助率　　地元負担を町1/4　農家3/4	255	576	産業振興課	
		用水路維持管理事業補助金	用水路の維持管理・補修に係る受益者負担の軽減を図るために維持管理補修費の一部を補助。	782	800	産業振興課	
		水土里情報システム運用事業	水土里情報システムの利用料	486	150	産業振興課	
		真駒内ダム幹線水利施設管理事業	真駒内ダムと一元管理を行う幹線用水路の管理費の地元負担金。	1,190	1,452	産業振興課	

項　目	細項目	事　業　名	事業概要	H25年度予算額	前年度予算額	担当課	摘要
１３　農林業振興	６３　基盤整備による効率的な農地利用の推進	国営造成施設管理体制整備事業	国営造成施設及びその付帯施設の管理体制の整備を図るためその推進活動及び体制整備の支援を行う。	3,982	3,982	産業振興課	
		中里頭首工基幹水利施設管理事業	中里頭首工の施設管理費の地元負担金。	3,583	3,874	産業振興課	
	６４　林業の振興	森林国営保険	自然災害等により町有林が消失した際の補償を受けるため、保険加入に要する経費。 〇保険期間　１０年間 〇対象箇所　6箇所　150.52ha	2,906	113	産業振興課	
		森林作業員就業条件整備事業	森林作業員の就労安定化を促進し、林業労働力を確保するため、作業奨励金の負担に要する経費。 〇事業主体　北海道造林協会 〇作業員、事業主、町、道が一定の掛け金を負担 町負担は、作業日数区分に応じて@８０円～@１４０円	95	200	産業振興課	
		町有林作業路補修事業	作業の円滑化を図るため、町有林の作業路補修に要する経費。	956	252	産業振興課	
		森林整備地域活動支援交付金事業	適切な森林整備の推進を図る観点から、施業集約化の促進に対する経費を支援。 〇積算基礎森林面積 63.80ha	1,914	15,136	産業振興課	
		町有林下刈り事業	植栽木を保護するため、周りの雑草木を刈り取るために要する経費。 〇事業面積　１４ha	724	735	産業振興課	
		町有林除間伐事業	町有林内において、形質良好な樹木の成長を図るため、不良木等の除伐を行う経費。 〇事業面積　63.05ha	7,266	19,981	産業振興課	

項　目	細項目	事　業　名	事業概要	H25年度予算額	前年度予算額	担当課	摘要
１３　農林業振興	６４　林業の振興	未来につなぐ森づくり推進事業	森林の有する多面的機能を発揮するために、民有林の伐採跡地等へ造林する者に対して、経費の一部を補助する。	2,550	2,550	産業振興課	
		地場材活用推進事業	地場材の活用促進のため町有林（カラ松・トド松）の木を集成材加工し、その集成材による住宅を新築した者に対し、建築経費を助成。 ○補助対象　新築・増築の専用住宅及び共同住宅 ○補助基準　延べ床面積に7,250円/㎡ 上限額　専用住宅1,000千円、共同住宅2,000千円 ○補助条件　町内の建設業者で施工 ○事業期間　平成２７年度まで	6,000	6,000	産業振興課	
		野そ駆除事業	町有林内における野ねずみの食害を予防するため、薬剤散布を行うために要する経費。	132	142	産業振興課	
		林業専用道稲穂支線開設事業	林業専用道を整備し植栽、除間伐等に事業を推進する。 ○開設工事　L=1，４００ W=3．５	35,500	31,000	産業振興課	
		森林活性化間伐搬出事業補助金	森林所有者自らがおこなう搬出間伐材の運搬費用に対し１㎥当たり@1,000円を交付し、民有林所有者の負担軽減を図るとともに森林の多面的機能の維持増進を図る。	1,500	1,500	産業振興課	
		育成林下刈り推進事業補助金	森林環境整備のため、民有林の下刈りに対し町は1ha当たり@3,000円を補助する。	390	390	産業振興課	
１４　商工業振興	６５　事務所の体力づくりへの支援・指導	商店街コミュニティ施設整備事業	商店街のイメージアップと美化活動を促進するため、大通り商店街振興協同組合の活動経費を助成。 ○事業内容　街路等維持管理等 ○補助率　定額	97	97	産業振興課	

項　目	細項目	事　業　名	事業概要	H25年度予算額	前年度予算額	担当課	摘要
１４　商工業振興	６５　事務所の体力づくりへの支援・指導	中小企業融資制度利子補給費補助金	中小企業の経営安定化を図るため、借入資金償還額に対する利子補給に要する経費。 〇融資限度額　・運転資金　　７００万円以内 　　・設備資金　１，０００万円以内 〇融資機関　・北海道銀行、渡島信用金庫 〇末端利率　・国民生活金融公庫基準金利 〇利子補給率　・信用保証率＋貸出金利と公庫基準金利の差(２％以内)	1,278	1,278	産業振興課	
		中小企業経営改善普及事業	今金町商工会が行う小規模事業者の経営・技術などの向上対策に要する経費の助成。 小規模事業者の売上げの増加及び消費者に対する還元策を拡充し、小規模事業者の振興と安定改善に要する助成。 〇補助率 ・経営改善普及　80/100以内 ・地域振興　50/100以内 ・事務局長費　60/100以内 〇事業主体　今金町商工会	12,976	13,316	産業振興課	
		地域消費活性化事業	個人所得の減少による消費の鈍化傾向を解消し、地元消費を活性化することにより購買力の流出防止を図り、小規模事業者の経営改善に資する。	1,200	1,000	産業振興課	
		プラザ２１管理事業	プラザ21の管理運営に要する経費。 〇委託先　今金町商工会 〇事業内容　利用計画立案、観光インフォメーション、清掃など	1,200	1,200	産業振興課	
		住宅リフォーム助成事業	町内に建設されている既存住宅の改修工事を行う方に対し、それに要する経費の一部を助成し、快適な居住環境の向上と町内住宅関連産業の振興及び雇用の安定を図る。 〇助成対象者 ・町内在住で、住民登録をしている人・町税等を滞納していない人 〇助成対象住宅 ・町内に所有し自ら居住している住宅 〇助成金額 ・事業費の２０％（上限３０万円） ただし、事業費が３０万円（消費税相当額を除く。）以上であること。	10,000	0	産業振興課	新規⑮

業振興	細項目	事　業　名	事業概要	H25年度予算額	前年度予算額	担当課	摘要
１４　商工業振興	６６　多様なビジネス展開の促進	空き店舗活用事業	空き店舗を活用した「みんなの広場ひだまり」の店舗賃借料に対する助成。 〇事業主体　今金町商工会 〇補助率　１／２	372	372	産業振興課	
	６７　勤労者の就労環境の向上	建築技能者協会活動事業	奉仕活動及び技能者の育成や能力の向上を図るため、協会の活動費に対する助成等に要する経費。 〇事業主体 今金町建築技能者協会 〇事業内容 技能講習、修繕等奉仕活動、視察研修など	218	218	産業振興課	
		職業援護活動事業	季節労働者の健康意識及び技術の向上などに要する経費。 〇補助事業　１３８千円 ・事業主体 今金町職業援護相談所 ・事業内容 安全講習会、優良表彰など	138	138	産業振興課	
		渡島檜山北部通年雇用促進支援協議会負担金	雇用確保及び通年雇用化を促進する各種ソフト事業を実施する。労働者側、雇用者側双方への働きかけ、各種講習や講演、合同研修視察実施のほか、雇用促進支援員を設置し、季節労働者の通年雇用化を図ることを目的とする。	82	84	産業振興課	
		工場誘致事業	工場誘致を積極的に奨励し、雇用の確保と産業振興を図るため、委員会の運営に要する経費。 〇委員10名、年１回開催 〇現在までの誘致企業　４社	72	72	産業振興課	

項　目	細項目	事　業　名	事業概要	H25年度予算額	前年度予算額	担当課	摘要
１５観光・交流・定住	６９　観光・交流・定住に関するコーディネート機能等の整備	観光協会観光事業補助金	今金町観光協会が行うイベント及びイベントＰＲ活動などに対する助成に要する経費。 〇観光名所紹介、施設整備 資源調査、イベント事業、 今金ＰＲ事業　など	5,720	4,070	産業振興課	
		みなみ北海道観光推進協議会負担金	渡島・檜山地域の観光宣伝及び啓発活動を行う協議組織の運営に要する経費の負担。	140	140	産業振興課	
	７０　地域資源を活かした観光・交流の推進	ピリカまつり補助金	美利河ダムを利用した関係機関の共催によるイベント開催経費に対する助成。 〇事業主体　実行委員会 〇補助率　定額 〇内容 ダム見学会、発電所見学会 手作り体験コーナー、コンサート パークゴルフ大会等	700	700	産業振興課	
		今金町ご当地グルメ開発推進事業	食を通じた観光まちづくりのため、集客の呼び水として「ご当地グルメ」をＰＲする。 〇各種イベントの企画、参画への支援 〇町外の方に対する効果的なＰＲ	今金町地域再生加速事業に含む	3,000	産業振興課	

項　目	細項目	事　業　名	事業概要	H25年度予算額	前年度予算額	担当課	摘要
１５観光・交流・定住	７０　地域資源を活かした観光・交流の推進	美利河環境保全林等整備事業	美利河地区における森林レクリエーション利用を促進するため、環境保全林等整備に要する経費。 〇丸山、カニカン岳、金山跡連絡道路等の笹刈り 〇美利河生活環境保全林内の維持管理	521	609	産業振興課	
		クアプラザピリカ管理運営事業	四季を通して観光宿泊施設として利用される、クアプラザピリカの管理運営に要する経費。 〇委託先　(株)クアプラザピリカ 〇施設概要 宿泊施設、温泉施設、スキー場 スポーツ施設、遊戯施設など	40,000	40,000	産業振興課	
		クアプラザピリカ宿泊施設町民利用助成負担金	町民及び町民同伴の宿泊利用者に対する料金の割引助成に要する経費。 〇対象施設　ｸｱﾌﾟﾗｻﾞﾋﾟﾘｶ･奥美利河温泉山の家 〇割引料　１，５００円	990	1,170	産業振興課	
		美利河ダム周辺公園等整備事業	美利河ダム周辺の施設・公園の整備、維持管理に要する経費。 〇公園管理委託費、トイレ・外灯の維持管理費など	680	680	産業振興課	
		ピリカスキー場索道施設整備事業	スキー場リフトの維持管理及び運営の委託に要する経費。 〇設置・維持　今金町 〇運営委託　クアプラザピリカ	5,883	10,349	産業振興課	
		観光宣伝啓発事業	イベント、観光施設、特産品等を紹介するパンフレットや雑誌広告等の宣伝に要する経費。	1,186	875	産業振興課	
		全国国有林レクリエーション協会負担金	森林レクリエーションに関する情報交換・研修を行うため、協会の運営に要する経費の負担。 〇レクリエーション利用に関する調査研究、調査研究・普及啓発　など	50	50	産業振興課	

項　目	細項目	事　業　名	事業概要	H25年度予算額	前年度予算額	担当課	摘要
１６　情報通信	７２　ホームページ活用による行政情報の発信	ホームページ公開事業	インターネットを通し様々な情報の公開を行い、不特定多数の人に情報を提供するためのプロバイダー契約に要する経費。	94	94	まちづくり推進課	
	７４　行政内部の情報化の推進	情報化推進事業	業務の効率化を推進するため、各種電算システムの運用に要する経費。 〇住民基本台帳システム、財務会計システムなど１５システム	16,970	40,843	総務財政課	
		庁内LAN構築事業	グループウエアの整備を行い、内部情報の共有化による業務効率の向上を図る。 〇事業内容 庁内ＬＡＮ保守・備品購入	11,599	5,240	総務財政課	
		LGWAN整備事業	専用回線を整備することによりセキュリティの確保や今後の電子自治体の整備基盤を行う。 〇事業内容 ・LGWAN回線使用料　４２３千円 ・総合行政ﾈｯﾄﾜｰｸ通信機器使用料　３３千円	456	456	総務財政課	
		電子自治体推進事業	インターネットを通して各種申請、届出や申請用紙のダウンロードなどを住民が利用できるサービスの提供。 〇事業内容 北海道電子自治体 共同運用委託料　663千円 北海道電子自治体 共同運営協議会負担金　１０千円	673	699	総務財政課	

項　目	細項目	事　業　名	事業概要	H25年度予算額	前年度予算額	担当課	摘要
１７　交通	７６　道路環境の向上	道路維持事業	町道（331km）に係る、夏期の維持修繕に要する経費。 〇路肩除草、路盤材布設、倒木の除去、側溝・雨水桝管理、車輌維持修繕など	37,048	40,240	公営施設課	
		防塵処理事業	生活道路の防塵処理（簡易舗装）に要する経費。 〇延長６１０m予定	5,000	5,000	公営施設課	
		冬期交通対策事業	除雪及び防雪柵設置による冬期交通確保に要する経費。 〇除雪　４９，３１４千円 ・路線　１４４km （直営33km、委託111km） ・公共施設駐車場11箇所（14,010㎡） 〇防雪柵　３８，９２３千円 ・設置・撤去　8,908m ・借地料　81,620㎡ 〇固定式導入L=264.5m　63,３００千円	151,537	117,832	公営施設課	
		流雪溝維持管理事業	市街地の降雪を速やかに投雪排除するため、流雪溝(3,670m)の維持管理に要する経費。 〇取水ポンプ、切替ゲート、監視システムの点検等 〇一部国・道受託事業 国道1,900m、道道920m、町道850m	21,142	21,950	公営施設課	

項　目	細項目	事　業　名	事業概要	H25年度予算額	前年度予算額	担当課	摘要
１７　交通	７６　道路環境の向上	町道整備事業	快適な走行、冬期間の安全を確保するために町道を整備する事業。 〇実施事業 ・中央通線交付金事業　６９，３００千円 ・栄線改修事業　６，５１０千円	75,810	80,400	公営施設課	
	７７　交通安全対策の推進	交通安全運動推進委員会補助金	交通安全運動推進委員会が行う交通事故防止や、交通安全啓蒙などの活動に対する助成。 〇事業内容 一般啓発費、特別啓発費、指導員活動費など 〇補助率　10／10	2,604	2,604	まちづくり推進課	
	７８　公共交通の維持・確保	生活交通路線確保対策事業	住民生活に必要不可欠なバス路線の確保などに要する経費。 〇維持運営費欠損額補助　４，８２０千円 〇通学定期券運賃補助　３，４８２千円	8,302	7,135	まちづくり推進課	

この頁は余白です。

○政策事業調書（新規用）

課名等	総務財政課　財政管財G

歳出科目名		
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	5	財産管理費

節	金額（千円）
1. 報酬	
2. 給料	
3. 職員手当等	
4. 共済費	
5. 災害補償費	
6. 恩給及び退職年金	
7. 賃金	
8. 報償費	
9. 旅費	
10. 交際費	
11. 需用費	
12. 役務費	
13. 委託料	
14. 使用料及び賃借料	
15. 工事請負費	19,425
16. 原材料費	
17. 公有財産購入費	
18. 備品購入費	
19. 負担金補助及び交付金	
20. 扶助費	
21. 貸付金	
22. 補償補填及び賠償金	
23. 償還金利子及び割引料	
24. 投資及び出資金	
25. 積立金	
26. 寄附金	
27. 公課費	
28. 繰出金	
合計	19,425

事業名

旧今金幼稚園跡地駐車場整備事業

1　目的、期待される効果

総合体育館、老人福祉センター、認定こども園等公共施設利用者の交通上の危険度が改善される。

冬期間の公共施設周辺道路等の環境が改善される。

2　事業の背景・沿革

①　背景・沿革

当地は平成23年度の幼稚園施設解体以来更地となっており、公共施設に隣接する比較的広大な土地であることから、有効な活用が課題とされていた。

また周辺施設の利用においては、既存駐車場の不足に加え、利用者が道路を横断する必要があることや、冬期間における堆雪場の不足から交通安全上の危険性や道路等施設環境の改善が懸念されていた。

②　根拠法令

3　事業概要について

①　事業主体　　今金町

②　事業内容及び積算内訳

予定駐車台数　４０台
舗装工　1,670㎡
路盤工　1,670㎡
排水工　　一式
フェンス工　　５４m
移動式遊具　　２基

4　総合計画の位置づけについて

①　総合計画登載の有無　**有**　・　無

②　施策体系
第1節　あんしん・今金

③　項目
1　行政運営

④　細項目
4　組織基盤の強化

5　財政計画について

①　今後の計画・目標

②　今後の予算額　（単位：千円）

年度	H25	H26	H27	H28	H29
予算額	19,425				

6　時限について

①　事業期間
平成２５年度　～　平成　年度

②　時限設定
・事業見直し年次　平成　年度予算編成時
・事業終了年次　平成　２５ 年度事業終了

【当該事業を行うにあたって比較検討した事業内容】

左の財源	金額（千円）	補助金等の名称	補助率等	備考欄
国庫支出金				
道支出金				
地方債				
その他				
一般財源	19,425	町単費		
合計	19,425			

○政策事業調書（新規用）

課名等	総務財政課　財政管財G

歳出科目名		
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	5	財産管理費

節	金額（千円）
1. 報酬	
2. 給料	
3. 職員手当等	
4. 共済費	
5. 災害補償費	
6. 恩給及び退職年金	
7. 賃金	
8. 報償費	
9. 旅費	
10. 交際費	
11. 需用費	
12. 役務費	
13. 委託料	
14. 使用料及び賃借料	
15. 工事請負費	20,475
16. 原材料費	
17. 公有財産購入費	
18. 備品購入費	
19. 負担金補助及び交付金	
20. 扶助費	
21. 貸付金	
22. 補償補填及び賠償金	
23. 償還金利子及び割引料	
24. 投資及び出資金	
25. 積立金	
26. 寄附金	
27. 公課費	
28. 繰出金	
合計	20,475

事業名

総合体育館前倉庫周辺駐車場整備事業

1　目的、期待される効果

学童保育所、総合体育館、老人福祉センター、認定こども園等公共施設利用者の駐車環境が改善される。

周辺道路への土砂流出等が改善される。

2　事業の背景・沿革

①　背景・沿革

当地は平成23年度に今金町土地開発公社より購入して以来、周辺施設利用者の駐車場として利用してきたが、砂利敷地であることから降雨時には道路への土砂や泥水の流出等が発生し、道路環境への悪影響が懸念されていたことに加え、周辺に新規施設や駐車場が整備されることから、施設利用者の快適な利用環境の整備を図るため、当地の駐車環境の整備が必要と判断される。

②　根拠法令

3　事業概要について

①　事業主体　　今金町

②　事業内容及び積算内訳

予定駐車台数　　３０台（普通車）
　　３台（大型バス）
舗装工　　2,100㎡
路盤工　　2,100㎡
排水工　　一式

4　総合計画の位置づけについて

①　総合計画登載の有無　　有　・　無

②　施策体系
第1節　あんしん・今金

③　項目
1　行政運営

④　細項目
4　組織基盤の強化

5　財政計画について

①　今後の計画・目標

②　今後の予算額　　（単位：千円）

年度	H25	H26	H27	H28	H29
予算額	20,475				

6　時限について

①　事業期間

平成２５年度　～　平成　年度

②　時限設定

・事業見直し年次　　平成　　年度予算編成時
・事業終了年次　　平成　２５ 年度事業終了

【当該事業を行うにあたって比較検討した事業内容】

左の財源	金額（千円）	補助金等の名称	補助率等	備考欄
国庫支出金				
道支出金				
地方債				
その他				
一般財源	20,475	町単費		
合計	20,475			

○政策事業調書（新規用）

課名等	今金消防署

歳出科目名		
款		消防費
項		今金消防署費
目		消防施設費

節	金額（千円）
1. 報酬	
2. 給料	
3. 職員手当等	
4. 共済費	
5. 災害補償費	
6. 恩給及び退職年金	
7. 賃金	
8. 報償費	
9. 旅費	
10. 交際費	
11. 需用費	888
12. 役務費	
13. 委託料	
14. 使用料及び賃借料	
15. 工事請負費	
16. 原材料費	1,335
17. 公有財産購入費	
18. 備品購入費	
19. 負担金補助及び交付金	
20. 扶助費	
21. 貸付金	
22. 補償補填及び賠償金	
23. 償還金利子及び割引料	
24. 投資及び出資金	
25. 積立金	
26. 寄附金	
27. 公課費	
28. 繰出金	
合計	2,223

事業名

消火栓取替修理事業

1　目的、期待される効果

今金町一円において消火栓の設置箇所は１２２箇所あり、近年消火栓本体の老朽化により破損し修理するものも出てきている
このことを鑑み、年次計画において消火栓本体の取替修理を行い、有事の際に備えることを目的とする

2　事業の背景・沿革

①　背景・沿革
消火栓の設置は水道の敷設時に設置された物が大半を占め、４０年以上経過している消火栓が２８基、２０年以上となると７９基と全体の約６５％あり老朽化が進行しており計画更新が必要とされている

②　根拠法令

3　事業概要について

①　事業主体　　檜山広域行政組合

②　事業内容及び積算内訳
消防施設費　　2,223千円
需用費　　888千円
（修繕料）
原材料費　　1,335千円
（消火栓本体一式）

4　総合計画の位置づけについて

①　総合計画登載の有無　　有　・　無

②　施策体系
第1節　あんしん・今金

③　項目
２　消防・防災

④　細項目
７　消防力の強化

5　財政計画について

①　今後の計画・目標
年次計画において１年に５箇所を目標に取替修理を実施するよう計画する

②　今後の予算額　（単位：千円）

年度	H25	H26	H27	H28	H29
予算額	2,223	2,223	2,223	2,223	2,223

6　時限について

①　事業期間
平成２５年度　～　平成　年度

②　時限設定
・事業見直し年次　　平成 ２５　年度予算編成時
・事業終了年次　　平成　年度事業終了

【当該事業を行うにあたって比較検討した事業内容】

左の財源	金額（千円）	補助金等の名称	補助率等	備考欄
国庫支出金				
道支出金				
地方債				
その他				
一般財源	2,223			
合計	2,223			

○政策事業調書（新規用）

課名等	今金消防署

歳出科目名		
款		消防費
項		今金消防署費
目		常備消防費、非常備消防費

節	金額（千円）
1. 報酬	
2. 給料	
3. 職員手当等	532
4. 共済費	
5. 災害補償費	
6. 恩給及び退職年金	
7. 賃金	
8. 報償費	
9. 旅費	1,616
10. 交際費	
11. 需用費	246
12. 役務費	
13. 委託料	
14. 使用料及び賃借料	
15. 工事請負費	
16. 原材料費	
17. 公有財産購入費	
18. 備品購入費	
19. 負担金補助及び交付金	
20. 扶助費	
21. 貸付金	
22. 補償補填及び賠償金	
23. 償還金利子及び割引料	
24. 投資及び出資金	
25. 積立金	
26. 寄附金	
27. 公課費	
28. 繰出金	
合計	2,394

事業名

北海道消防操法訓練大会出場派遣事業

1　目的、期待される効果

消防団員による消防操法訓練を行い、消防技術の向上と士気の高揚を図り、消防活動の充実強化を目的とする

2　事業の背景・沿革

①　背景・沿革

檜山管内の各消防団が持ち回りで出場し、平成２５年度今金町消防団が該当年となっている

なお、前回は平成１３年度に出場し優良賞となり、輝かしい実績を残している

②　根拠法令

3　事業概要について

①　事業主体　　今金町消防団

②　事業内容及び積算内訳

常備消防費　651千円
　職員手当　532千円
　旅費　119千円
非常備消防費　1,743千円
　旅費　1,497千円
　需用費　246千円

4　総合計画の位置づけについて

①　総合計画登載の有無　**有**　・　無

②　施策体系

第1節　あんしん・今金

③　項目

２　消防・防災

④　細項目

７　消防力の強化

5　財政計画について

①　今後の計画・目標

②　今後の予算額　（単位：千円）

年度	H25	H26	H27	H28	H29
予算額	2,394				

6　時限について

①　事業期間

平成２５年度　～　平成２５年度

②　時限設定

・事業見直し年次　平成 ２５ 年度予算編成時

・事業終了年次　平成 ２５ 年度事業終了

【当該事業を行うにあたって比較検討した事業内容】

左の財源	金額（千円）	補助金等の名称	補助率等	備考欄
国庫支出金				
道支出金				
地方債				
その他				
一般財源	2,394			
合計	2,394			

○政策事業調書（新規用）

課名等	総務財政課　財政管財G

歳出科目名		
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	5	財産管理費

節	金額（千円）
1. 報酬	
2. 給料	
3. 職員手当等	
4. 共済費	
5. 災害補償費	
6. 恩給及び退職年金	
7. 賃金	
8. 報償費	
9. 旅費	
10. 交際費	
11. 需用費	
12. 役務費	
13. 委託料	
14. 使用料及び賃借料	
15. 工事請負費	
16. 原材料費	
17. 公有財産購入費	
18. 備品購入費	7,875
19. 負担金補助及び交付金	
20. 扶助費	
21. 貸付金	
22. 補償補填及び賠償金	
23. 償還金利子及び割引料	
24. 投資及び出資金	
25. 積立金	
26. 寄附金	
27. 公課費	
28. 繰出金	
合計	7,875

事業名

非常用発電機購入事業

1　目的、期待される効果

非常（停電）時において、窓口業務など役場機能のある程度の確保や、消防デジタル無線の電源を確保することができる。

2　事業の背景・沿革

①　背景・沿革

本町役場庁舎においては、これまでに非常用電源を整備していなかったことから、地震等の自然災害が発生するなどの非常時をはじめ、何らかの理由で通電を得られない状況が生じた場合において、窓口業務などのある程度の役場機能を維持や、整備予定の消防デジタル無線の電源確保が課題とされていた。

②　根拠法令

3　事業概要について

①　事業主体　　今金町

②　事業内容及び積算内訳

整備予定
オイルフェンス一体型発電機　出力　１２５ＫＶＡ　１台

4　総合計画の位置づけについて

①　総合計画登載の有無　　有　・　無

②　施策体系

第1節　あんしん・今金

③　項目

２　消防・防災

④　細項目

８　災害予防対策・危機管理対策の強化

5　財政計画について

①　今後の計画・目標

②　今後の予算額　（単位：千円）

年度	H25	H26	H27	H28	H29
予算額	7,875				

6　時限について

①　事業期間

平成２５年度　～　平成　年度

②　時限設定

・事業見直し年次　　平成　　年度予算編成時

・事業終了年次　　平成　２５ 年度事業終了

【当該事業を行うにあたって比較検討した事業内容】

左の財源	金額（千円）	補助金等の名称	補助率等	備考欄
国庫支出金				
道支出金				
地方債				
その他				
一般財源	7,875	町単費		
合計	7,875			

○政策事業調書（新規用）

課名等	公営施設課土木建築G

歳出科目名		
款	8	土木費
項	4	都市計画費
目	2	都市公園管理費

節	金額（千円）
1. 報酬	
2. 給料	
3. 職員手当等	
4. 共済費	
5. 災害補償費	
6. 恩給及び退職年金	
7. 賃金	
8. 報償費	
9. 旅費	
10. 交際費	
11. 需用費	
12. 役務費	
13. 委託料	2,000
14. 使用料及び賃借料	
15. 工事請負費	20,000
16. 原材料費	
17. 公有財産購入費	
18. 備品購入費	
19. 負担金補助及び交付金	
20. 扶助費	
21. 貸付金	
22. 補償補填及び賠償金	
23. 償還金利子及び割引料	
24. 投資及び出資金	
25. 積立金	
26. 寄附金	
27. 公課費	
28. 繰出金	
合計	22,000

事業名

中央緑地改修事業

1 目的、期待される効果

当該緑地を改修することにより、緑地の排水機能向上や地盤沈下などを防ぐ効果が期待され、悪天候時でのイベント開催にも対応できるよう整備するものである。

2 事業の背景・沿革

① 背景・沿革

当該緑地は、イベント会場として利用される事が多いが、悪天候となると足元がぬかるんでしまい、利用者や来場者に多大な迷惑が掛かっている。

暗渠などの排水機能は整備済みだが、整備してから２０年以上経っており、現在ではその機能はほとんど失っている状況である。

長期的かつ安定的にイベントを行えるように整備いたしたい。

② 根拠法令

3 事業概要について

① 事業主体　今金町公営施設課

② 事業内容及び積算内訳

・全体事業費：C=22,000千円

（測量設計費：2,000千円
本工事費　：20,000千円）

4 総合計画の位置づけについて

① 総合計画登載の有無　**有**　・　無

② 施策体系

第1節　あんしん・今金

③ 項目

３　住生活

④ 細項目

１２　公園・緑地の維持管理

5 財政計画について

① 今後の計画・目標

整備後は、長期的にイベントなどが行われるように維持管理に努めていきたい。

② 今後の予算額　（単位：千円）

年度	H25	H26	H27	H28	H29
予算額	22,000				

6 時限について

① 事業期間

平成２５年度　～　平成２５年度

② 時限設定

・事業見直し年次　平成　年度予算編成時

・事業終了年次　平成２５　年度事業終了

【当該事業を行うにあたって比較検討した事業内容】

左の財源	金額（千円）	補助金等の名称	補助率等	備考欄
国庫支出金				
道支出金				
地方債				
その他				
一般財源	22,000			
合計	22,000			

○政策事業調書（新規用）

課名等	公営施設課上下水道G

歳出科目名		
款	4	衛生費
項	1	保健衛生費
目	7	浄化槽対策推進費

節	金額（千円）
1. 報酬	
2. 給料	
3. 職員手当等	
4. 共済費	
5. 災害補償費	
6. 恩給及び退職年金	
7. 賃金	
8. 報償費	
9. 旅費	
10. 交際費	
11. 需用費	
12. 役務費	
13. 委託料	700
14. 使用料及び賃借料	
15. 工事請負費	
16. 原材料費	
17. 公有財産購入費	
18. 備品購入費	
19. 負担金補助及び交付金	
20. 扶助費	
21. 貸付金	
22. 補償補填及び賠償金	
23. 償還金利子及び割引料	
24. 投資及び出資金	
25. 積立金	
26. 寄附金	
27. 公課費	
28. 繰出金	
合計	700

1　目的、期待される効果

市街化区域において公共下水道の供用が開始されたが、町内全域において公共用水域の水質汚濁防止に取り組み、快適な環境の中で健康な暮らしを営むため、公共下水道整備計画区域外の地域へ合併浄化槽設置整備を普及促進するものである。

当該事業は平成16年度から10年間の事業期間で実施してきており、平成25年度をもって10年が経過することから、平成26年度以降の事業実施計画策定の参考とすべく平成24年11月に住民意向調査を実施した。住民意向調査の結果や当該事業の導入背景等を総合的に勘案し、協議した結果、平成26年度以降も事業を実施していくこととしたことから、平成26年度より新たに10年間の事業を実施することとしたものである。

2　事業の背景・沿革

①　背景・沿革

生活排水対策は、近年における水質環境の保全および快適な生活の要請の高まり、また、生活の量的増大、質的多様化による汚濁負荷の増加、それに起因する水質悪化などを背景に、その重要性と緊急性は拡大してきていた。

現在、本町においては、公共下水道事業により公共下水道整備区域内の下水道整備を進め、平成15年度に供用開始をしている。

しかし、下水道区域外の散在集落地域においては、大部分の生活排水が未処理のまま放流されており、公共用水域の水質汚濁負荷および生活環境の悪化防止対策の必要があった。

そのため、平成16年度より下水道整備計画区域外を対象とした浄化槽設置整備事業に着手し、現在に至る。

②　根拠法令

3　事業概要について

①　事業主体　　今金町公営施設課

②　事業内容及び積算内訳

・全体事業費：調査費：　700千円
今金町生活排水処理基本計画作成業務委託　C=700千円

4　総合計画の位置づけについて

①　総合計画登載の有無　　有　・　無

②　施策体系

第1節　あんしん・今金

③　項目

４　環境保全

④　細項目

１５　汚水処理の普及促進

5　財政計画について

①　今後の計画・目標

今後においては、平成26年度から５か年経過した平成30年度を点検年度とし、住民意向調査を再度実施し、その結果を残りの５か年に反映する必要がある。

②　今後の予算額　　（単位：千円）

年度	H25	H26	H27	H28	H29
予算額	700	9,400	9,400	9,400	9,400

6　時限について

①　事業期間

平成２５年度　～　平成３５年度

②　時限設定

・事業見直し年次　　平成２９　年度予算編成時

・事業終了年次　　平成３５　年度事業終了

【当該事業を行うにあたって比較検討した事業内容】

左の財源	金額（千円）	補助金等の名称	補助率等	備考欄
国庫支出金				
道支出金				
地方債				
その他				
一般財源	700			
合計	700			

事業名

浄化槽設置整備調査事業

○政策事業調書（新規用）

課名等	公営施設課土木建築G

歳出科目名		
款	8	土木費
項	2	道路橋りょう費
目	1	道路維持費

節	金額（千円）
1. 報酬	
2. 給料	
3. 職員手当等	
4. 共済費	
5. 災害補償費	
6. 恩給及び退職年金	
7. 賃金	
8. 報償費	
9. 旅費	
10. 交際費	
11. 需用費	
12. 役務費	
13. 委託料	1,700
14. 使用料及び賃借料	
15. 工事請負費	
16. 原材料費	
17. 公有財産購入費	
18. 備品購入費	
19. 負担金補助及び交付金	
20. 扶助費	
21. 貸付金	
22. 補償補填及び賠償金	
23. 償還金利子及び割引料	
24. 投資及び出資金	
25. 積立金	
26. 寄附金	
27. 公課費	
28. 繰出金	
合計	1,700

事業名

公共残土処分場造成事業

1　目的、期待される効果

公共工事発生土を長期的かつ安定的に処分することを目的として、町有地を公共工事発生土の処分場として整備するものである。
また、残土処分計画地は、やすらぎ苑近隣の町有地であることから、将来の墓地用地や火葬場の移転先として利用する方向としたい。

2　事業の背景・沿革

①　背景・沿革

公共工事の建設発生土の処分は、これまで、その多くを、市街地近隣の民地に頼ってきたところであるが、今年度の公共工事で、処分地として利用させていただいた民地が残土で一杯になったことから、新たな処分地が必要となった。
しかし、市街地近隣に民地の処分適地がないことから、町有地の処分地を確保する必要があるため、町有地を公共工事発生土の処分場として整備するものである。
残土処分計画地は、やすらぎ苑近隣の町有地であることから、将来の墓地用地や火葬場の移転先として利用する方向としたい。

②　根拠法令

3　事業概要について

①　事業主体　　今金町公営施設課

②　事業内容及び積算内訳

・計画面積　：A＝7,820㎡
・全体事業費：C=21,700千円
　（測量設計費：1,700千円
　　本工事費　：20,000千円）

4　総合計画の位置づけについて

①　総合計画登載の有無　　有　・　無

②　施策体系

第1節　あんしん・今金

③　項目

４　環境保全

④　細項目

１７　公害防止・環境美化・景観形成の推進

5　財政計画について

①　今後の計画・目標

整備後、順次残土の受け入れを実施することとなるが、町発注の建設工事に制限はないが、国、道発注の公共工事については、建設発生土の受け入れ制限を行うなど、長期的かつ安定的に残土を処分できるように管理を行う。
また、将来的にやすらぎ苑の墓地用地や火葬場の移転先として利活用できるように造成形態や排水計画などを行う。

②　今後の予算額　　（単位：千円）

年度	H25	H26	H27	H28	H29
予算額	1,700	20,000			

6　時限について

①　事業期間

平成２５年度　～　平成２６年度

②　時限設定

・事業見直し年次　　平成　　年度予算編成時
・事業終了年次　　平成２６　年度事業終了

【当該事業を行うにあたって比較検討した事業内容】

左の財源	金額（千円）	補助金等の名称	補助率等	備考欄
国庫支出金				
道支出金				
地方債				
その他				
一般財源	1,700			
合計	1,700			

○政策事業調書（新規用）

課名等	保健福祉課

歳出科目名		
款	3	民生費
項	1	社会福祉費
目	2	老人福祉費

節	金額（千円）
1. 報酬	
2. 給料	
3. 職員手当等	
4. 共済費	
5. 災害補償費	
6. 恩給及び退職年金	
7. 賃金	
8. 報償費	
9. 旅費	
10. 交際費	
11. 需用費	
12. 役務費	
13. 委託料	2,000
14. 使用料及び賃借料	
15. 工事請負費	28,000
16. 原材料費	
17. 公有財産購入費	
18. 備品購入費	
19. 負担金補助及び交付金	
20. 扶助費	
21. 貸付金	
22. 補償補填及び賠償金	
23. 償還金利子及び割引料	
24. 投資及び出資金	
25. 積立金	
26. 寄附金	
27. 公課費	
28. 繰出金	
合計	30,000

事業名

今金町老人福祉センター改修事業

1 目的、期待される効果

・老人クラブ活動や高齢者等の就眠・文化・教養などのサークル活動の活発化やこれらに伴う高齢者の外出機会の拡大

・身体機能の低下がある人や障がいのある人なが安心して利用できる施設への改修

2 事業の背景・沿革

① 背景・沿革

今金町老人福祉センターは、老人が健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与し、もって健康で明るい生活を営ませることを目的に昭和58年に設置されているが、建設から30年を経過し、施設の老朽化が顕著であることや、老人クラブをはじめ高齢者団体等を中心に趣味・文化・教養など様々な活動が展開されており、これら多様化する利用者ニーズやトイレなど高齢者が安心して利用しやすい施設への改修が求められている。

② 根拠法令

3 事業概要について

① 事業主体　今金

② 事業内容及び積算内訳

設計委託料　2，000千円

改修工事費　28，000円

・トイレ

・大ホール

・各室　外

4 総合計画の位置づけについて

① 総合計画登載の有無　有　・　無

② 施策体系　第１節　あんしん・今金　～安全・安心な暮らしから

③ 項目　６　福祉

④ 細項目　２６　高齢者介護・福祉の充実

5 財政計画について

① 今後の計画・目標

② 今後の予算額　（単位：千円）

年度	H25	H26	H27	H28	H29
予算額	30,000				

6 時限について

① 事業期間

平成　２５　年度　～　平成　年度

② 時限設定

・事業見直し年次　平成　年度予算編成時

・事業終了年次　平成　年度事業終了

【当該事業を行うにあたって比較検討した事業内容】

左の財源	金額（千円）	補助金等の名称	補助率等	備考欄
国庫支出金				
道支出金				
地方債				
その他				
一般財源	30,000			
合計	30,000			

○政策事業調書（新規用）

課名等	保健福祉課

歳出科目名		
款	3	民生費
項	1	社会福祉費
目	3	障がい者特別対策費

節	金額（千円）
1. 報酬	
2. 給料	
3. 職員手当等	
4. 共済費	
5. 災害補償費	
6. 恩給及び退職年金	
7. 賃金	
8. 報償費	
9. 旅費	
10. 交際費	
11. 需用費	
12. 役務費	
13. 委託料	
14. 使用料及び賃借料	
15. 工事請負費	
16. 原材料費	
17. 公有財産購入費	
18. 備品購入費	
19. 負担金補助及び交付金	1,080
20. 扶助費	
21. 貸付金	
22. 補償補填及び賠償金	
23. 償還金利子及び割引料	
24. 投資及び出資金	
25. 積立金	
26. 寄附金	
27. 公課費	
28. 繰出金	
合計	1,080

1 目的、期待される効果

【目的】 今金町における障がい者雇用の関心と理解を深めることにより障がい福祉の向上のために、新たに障がい者雇用する事業者に対して支援を行う。

【対象者】新規雇用者として障がい者を雇用する町内事業者

【助成方法】事業者からの申請により資格認定し半年毎の実績報告により２年間補助金を交付する.

2 事業の背景・沿革

① 背景・沿革

国の制度以外には、障がい者への就労に対する支援策がほとんどなく、就職先が多い他市町村へ転出してしまうケースが非常に多い。

② 根拠法令

3 事業概要について

① 事業主体 今金町

② 事業内容及び積算内訳

H25 30,000円×12ヶ月×3人 = 1,080千円

4 総合計画の位置づけについて

① 総合計画登載の有無 **有** ・ 無

② 施策体系 第１節 あんしん・今金 ～安全・安心なくらしから

③ 項目 ６ 福祉

④ 細項目 ２７ 障がいのある人への福祉の推進

5 財政計画について

① 今後の計画・目標

次年度の対象者の把握をしながら、事業計画を立て、更には各団体へ啓発をし、今金町で安心して障がい者が暮らせるような町づくりを目指す。

② 今後の予算額 （単位：千円）

年度	H25	H26	H27	H28	H29
予算額	1,080	1,080			

6 時限について

① 事業期間

平成25年度 ～ 平成26年度

② 時限設定

・事業見直し年次 平成 27 年度予算編成時

・事業終了年次 平成 年度事業終了

【当該事業を行うにあたって比較検討した事業内容】

左の財源	金額（千円）	補助金等の名称	補助率等	備考欄
国庫支出金				
道支出金				
地方債				
その他				
一般財源	1,080			
合計	1,080			

事業名

今金町障がい者雇用促進補助事業

○政策事業調書（新規用）

課名等	教育委員会

歳出科目名		
款	10	教育費
項	2	小学校費
目	1	学校管理費

節	金額（千円）
1. 報酬	
2. 給料	
3. 職員手当等	
4. 共済費	
5. 災害補償費	
6. 恩給及び退職年金	
7. 賃金	
8. 報償費	
9. 旅費	
10. 交際費	
11. 需用費	
12. 役務費	6
13. 委託料	6,350
14. 使用料及び賃借料	
15. 工事請負費	59,600
16. 原材料費	
17. 公有財産購入費	
18. 備品購入費	
19. 負担金補助及び交付金	
20. 扶助費	
21. 貸付金	
22. 補償補填及び賠償金	
23. 償還金利子及び割引料	
24. 投資及び出資金	
25. 積立金	
26. 寄附金	
27. 公課費	
28. 繰出金	
合計	65,956

事業名

教職員住宅建設事業

1 目的、期待される効果

現在使用している教職員住宅（昭和４６年から昭和６０年建築）については老朽化が進んでいることから計画的な建替えを行う。平成２５年度においては種川地区の教員住宅（校長・教頭）の地質調査・設計および建設を行う。

2 事業の背景・沿革

① 背景・沿革

平成２５年度整備する種川小校長住宅は、築２８年を経過し、老朽化が著しいことから、優先順位が高く、整備にあたっては、学校管理上、適正なものとするため、教頭住宅と併せて整備する。

② 根拠法令

3 事業概要について

① 事業主体　今金町教育委員会

② 事業内容及び積算内訳

木造　平屋　１棟１戸×２棟（延床面積：１棟８９．４３㎡（２７坪））

建物本体および外構工事外　５９，６００，０００円
設計業務委託料　５，０００，０００円
工事監理業務委託料　１，３５０，０００円
簡易水道各種手数料　６，０００円

4 総合計画の位置づけについて

① 総合計画登載の有無　**有**　・　無

② 施策体系

第2節　いきいき・今金

③ 項目

９　学校教育

④ 細項目

４４　教育環境の充実

5 財政計画について

① 今後の計画・目標

今金中　校長・教頭住宅　地質調査等
今金中　校長・教頭住宅　設計、建築
今金中　一般教員住宅　取り壊し、整備等

② 今後の予算額　（単位：千円）

年度	H25	H26	H27	H28	H29
予算額	65,956	20,000	20,000		50,000

6 時限について

① 事業期間

平成２５年度　～　平成３２年度

② 時限設定

・事業見直し年次　平成　年度予算編成時
・事業終了年次　平成　年度事業終了

【当該事業を行うにあたって比較検討した事業内容】

左の財源	金額（千円）	補助金等の名称	補助率等	備考欄
国庫支出金				
道支出金				
地方債				
その他				
一般財源	65,956			
合計	65,956			

○政策事業調書（新規用）

課名等	教育委員会

歳出科目名		
款	10	教育費
項	5	保健体育費
目	2	体育施設費

節	金額（千円）
1. 報酬	
2. 給料	
3. 職員手当等	
4. 共済費	
5. 災害補償費	
6. 恩給及び退職年金	
7. 賃金	
8. 報償費	
9. 旅費	
10. 交際費	
11. 需用費	
12. 役務費	
13. 委託料	6,800
14. 使用料及び賃借料	
15. 工事請負費	
16. 原材料費	
17. 公有財産購入費	
18. 備品購入費	
19. 負担金補助及び交付金	
20. 扶助費	
21. 貸付金	
22. 補償補填及び賠償金	
23. 償還金利子及び割引料	
24. 投資及び出資金	
25. 積立金	
26. 寄附金	
27. 公課費	
28. 繰出金	
合計	6,800

1　目的、期待される効果

総合体育館は築３７年を経ており、建物全般について経年劣化が随所にみられる。利用者の安全性確保と施設の延命を図るため、改修を行う。

2　事業の背景・沿革

①　背景・沿革

総合体育館は昭和５１年度建設され、築３７年を迎える。平成２０年度には教育委員会から、「今金町における生涯学習施設利用促進支援方策」について、社会教育委員会・体育指導委員会・文化財保護委員会に諮問がある。平成２１年度において答申がなされた。子どもが安全に遊べる空間の確保が要望された。
平成２１年度において改修のための調査が実施されている。

②　根拠法令

3　事業概要について

①　事業主体　　今金町教育委員会

②　事業内容及び積算内訳

総合体育館改修調査設計委託

4　総合計画の位置づけについて

①　総合計画登載の有無　　有　・　無

②　施策体系

第2節　いきいき・今金

③　項目

１０　社会教育

④　細項目

５４　スポーツ活動の促進

5　財政計画について

①　今後の計画・目標

平成２６年度１年間かけて改修工事を行う計画である。

②　今後の予算額　　（単位：千円）

年度	H25	H26	H27	H28	H29
予算額	6,800	300,000			

6　時限について

①　事業期間

平成２５年度　～　平成２６年度

②　時限設定

・事業見直し年次　　平成　　年度予算編成時

・事業終了年次　　平成２６　年度事業終了

【当該事業を行うにあたって比較検討した事業内容】

左の財源	金額（千円）	補助金等の名称	補助率等	備考欄
国庫支出金				
道支出金				
地方債				
その他				
一般財源	6,800			
合計	6,800			

事業名

総合体育館改修事業

○政策事業調書（新規用）

課名等	産業振興課（農政畜産G）

事業名

クリーン農業推進事業

歳出科目名		
款		
項		
目		

節	金額（千円）
1. 報酬	
2. 給料	
3. 職員手当等	
4. 共済費	
5. 災害補償費	
6. 恩給及び退職年金	
7. 賃金	
8. 報償費	
9. 旅費	
10. 交際費	
11. 需用費	
12. 役務費	
13. 委託料	
14. 使用料及び賃借料	
15. 工事請負費	
16. 原材料費	
17. 公有財産購入費	
18. 備品購入費	
19. 負担金補助及び交付金	2,200
20. 扶助費	
21. 貸付金	
22. 補償補填及び賠償金	
23. 償還金利子及び割引料	
24. 投資及び出資金	
25. 積立金	
26. 寄附金	
27. 公課費	
28. 繰出金	
合計	2,200

1 目的、期待される効果

今金町の水稲作付け面積は年々減少している状況にあり、この作付け面積に係る米の生産数量目標数値が、毎年、①収量の安定性、②１等米の内容、③低タンパク米の内容、④クリーン農業等の取組、⑤産地指定の内容の５つの項目により算出されております。このような状況の中で、水稲作付け面積（水張り面積）の確保を図るため、クリーン農業対策を実施する。

2 事業の背景・沿革

① 背景・沿革

② 根拠法令

3 事業概要について

① 事業主体

② 事業内容及び積算内訳

補助金の算出

Yes！Clean対応施肥体系　６，２７１円　・・・　①

慣行施肥体系　５，１４１円　・・・　②

①－②＝１，１３０円　≒　１，１００円　・・・③

③×１／２＝５５０円　・・・　④

④×４００ａ×１０＝２，２００，０００円

4 総合計画の位置づけについて

① 総合計画登載の有無　**有**　・　無

② 施策体系

第3節　はつらつ・今金

③ 項目

１３　農林業振興

④ 細項目

６１　公賓櫃で環境にやさしい農畜産物の安定生産の促進

5 財政計画について

① 今後の計画・目標

② 今後の予算額　（単位：千円）

年度	H25	H26	H27	H28	H29
予算額	2,200				

6 時限について

① 事業期間

平成　２５　年度　～　平成２５年度

② 時限設定

・事業見直し年次　平成　年度予算編成時

・事業終了年次　平成　年度事業終了

【当該事業を行うにあたって比較検討した事業内容】

左の財源	金額（千円）	補助金等の名称	補助率等	備考欄
国庫支出金				
道支出金				
地方債				
その他				
一般財源	2,200			
合計	2,200			

○政策事業調書（新規用）

課名等	総務財政課　財政管財G

歳出科目名		
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	5	財産管理費

節	金額（千円）
1. 報酬	
2. 給料	
3. 職員手当等	
4. 共済費	
5. 災害補償費	
6. 恩給及び退職年金	
7. 賃金	
8. 報償費	
9. 旅費	
10. 交際費	
11. 需用費	
12. 役務費	
13. 委託料	
14. 使用料及び賃借料	
15. 工事請負費	46,300
16. 原材料費	
17. 公有財産購入費	
18. 備品購入費	
19. 負担金補助及び交付金	
20. 扶助費	
21. 貸付金	
22. 補償補填及び賠償金	
23. 償還金利子及び割引料	
24. 投資及び出資金	
25. 積立金	
26. 寄附金	
27. 公課費	
28. 繰出金	
合計	46,300

1　目的、期待される効果

国営緊急農地再編整備事業に伴う、函館開発建設部の事務所として利用することで、再編整備事業の円滑な事業推進が期待されるほか、同施設の賃貸収入を得ることができる。

また、町内に開発局職員が居住することによる町経済への効果も期待できる。

2　事業の背景・沿革

①　背景・沿革

同施設は平成２３年3月に町立保育所が閉鎖して以来、町の物品収納庫として利用していたが、平成25年度より国営緊急農地再編整備事業が具体的に推進されていくのを見込み、函館開発建設部が町内に設置する拠点事業所として適当と判断されたことから、適切な機能を確保するため、改修の必要がある。

②　根拠法令

3　事業概要について

①　事業主体　　今金町

②　事業内容及び積算内訳

事務室：70.07㎡
附属室：169.88㎡
（会議室、書庫、湯沸室、便所、更衣室など）
共通部分：99.05㎡
車　庫：54.00㎡

4　総合計画の位置づけについて

①　総合計画登載の有無　　有　・　無

②　施策体系
第３節　はつらつ・今金

③　項目
１３　農林業振興

④　細項目
６３　基盤整備による効率的な農地利用の推進

5　財政計画について

①　今後の計画・目標

②　今後の予算額　（単位：千円）

年度	H25	H26	H27	H28	H29
予算額	46,300				

6　時限について

①　事業期間
平成２５年度　～　平成　年度

②　時限設定
・事業見直し年次　平成　年度予算編成時
・事業終了年次　平成　２５ 年度事業終了

【当該事業を行うにあたって比較検討した事業内容】

左の財源	金額（千円）	補助金等の名称	補助率等	備考欄
国庫支出金				
道支出金				
地方債				
その他				
一般財源	46,300	町単費		
合計	46,300			

事業名

旧今金保育所改修事業

○政策事業調書（新規用）

課名等	産業振興課（商工観光グループ）

歳出科目名		
款	7	商工費
項	1	商工費
目	1	商工総務費

節	金額（千円）
1. 報酬	
2. 給料	
3. 職員手当等	
4. 共済費	
5. 災害補償費	
6. 恩給及び退職年金	
7. 賃金	
8. 報償費	
9. 旅費	
10. 交際費	
11. 需用費	
12. 役務費	
13. 委託料	
14. 使用料及び賃借料	
15. 工事請負費	
16. 原材料費	
17. 公有財産購入費	
18. 備品購入費	
19. 負担金補助及び交付金	10,000
20. 扶助費	
21. 貸付金	
22. 補償補填及び賠償金	
23. 償還金利子及び割引料	
24. 投資及び出資金	
25. 積立金	
26. 寄附金	
27. 公課費	
28. 繰出金	
合計	10,000

事業名

住宅リフォーム助成事業

1　目的、期待される効果

今金町内に建設されている既存住宅の改修工事を行う方に対し、それに要する経費の一部を助成することにより、快適な居住環境の向上と町内住宅関連産業の振興及び雇用の安定を図ることを目的とする。

2　事業の背景・沿革

①　背景・沿革

②　根拠法令

3　事業概要について

①　事業主体

②　事業内容及び積算内訳

【助成対象となるリフォーム】

町内の施工業者を利用する、住宅本体に係る機能維持向上、居住環境の向上のための修繕、模様替え、増改築、減築等の工事

【助成金額】

事業費の２０％を助成する（上限３０万円）

事業費が３０万円以上（消費税相当額を除く。）であること。

4　総合計画の位置づけについて

①　総合計画登載の有無　**有**　・　無

②　施策体系

第3節　はつらつ・今金

③　項目

１４　商工業振興

④　細項目

６５　事務所の体力づくりへの支援・指導

5　財政計画について

①　今後の計画・目標

②　今後の予算額　（単位：千円）

年度	H25	H26	H27	H28	H29
予算額	10,000	10,000			

6　時限について

①　事業期間

平成２５年度　～　平成２６年度

②　時限設定

・事業見直し年次　平成　年度予算編成時

・事業終了年次　平成２６　年度事業終了

【当該事業を行うにあたって比較検討した事業内容】

左の財源	金額（千円）	補助金等の名称	補助率等	備考欄
国庫支出金				
道支出金				
地方債				
その他				
一般財源	10,000			
合計	10,000			